

事務事業評価 & 総合計画実施計画調査シート

事業名	コード	名称	区分	コード	名称
982		国史跡上野城跡保存事業	会計	01	一般会計
			款	10	教育費
基本	36	歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	項	05	社会教育費
策			目	02	文化財保護費
			細目	104	文化財保存整備事業
			細々目	02	国史跡上野城跡保存整備事業
基本計画該当頁		145	行革大綱の重点事項番号		
担当部課	コード	450500	評価者氏名	中川 秀也	連絡先
	名称	教育部 生涯学習課 文化財室			22 - 9681 (内線) 3840

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	国史跡上野城跡筒井本丸ゾーン(城代屋敷跡周辺)の遺構 (対象件数)	遺構を土堀やサイン表示など、城郭として整備することで、筒井時代とそれ以降の上野城の変遷等、上野城の文化財としての価値が顕在化し、多くの利用者が訪れる場となる。石垣を修復、復元することで、遺構を守り、景観や利用者の安全を確保することができる。
根拠法令・要綱等 文化財保護法		
開始年度	平成 11 年度	関連事業
終了年度	平成 23 年度	
本年度事業内容	・台所門付近未調査部分と石垣上端部の発掘調査 ・石垣測量 ・石垣解体並びに石垣内部発掘調査 ・石垣および石材の養生	状況変化等 平成11～16年度までの調査成果に基づき、城代屋敷跡周辺の整備をするため、指導委員会等の指導・助言を受け、遺構表示、表門等の建物復元ないし立体表示、消失石垣の復元等について検討を行い、16年度には整備基本設計の策定を行った。また、発掘調査の成果をもとに遺構検討や史料との照合を行い、城代屋敷、台所門については、絵図と遺構との一致が多く見られた。18年度の調査でも台所門について西側の石垣範囲がほぼ明らかとなり、19年度は、台所門西側の石垣の整備に着手する。

整備内容

1 建設用地	上野丸之内地内 19年度 発掘調査・遺構整備
2 建設面積(延床面積)	工事(石垣)20・21年度遺構整備工事(石垣)22年度～ 遺構整備(門・土堀他)
3 規模・構造	
4 総事業費	366,200 千円

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	補助	事業類型	整備事業	2次評価対象分
------	----	----	------	------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
計画の進捗度	平成23年度までの全事業計画の年次計画に従って事業を進める。	%	目標 40 実績 40	目標 45 実績 45	55	65
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	筒井本丸ゾーンは、城跡の中核的な部分であり、城の変遷上重要なところである。発掘調査を進め遺構の解明を図り、その成果を史跡の保存整備に活かすことで、文化財としての価値を顕在化し、その活用を図ることができる。台所門付近の石垣は、過去に大きく崩れており、また、昨年度の調査を基に修復、復元を要する現状である。
有効性	4	筒井本丸ゾーンは、石垣が現存し筒井天守跡等が所在するが、城郭としての整備はされておらず、見学者があまり訪れない地区である。また、上野城跡全体をみても、高石垣や内堀等は見られるが、上野城と直接的に関連する建物等はなく、全体の縄張りや、変遷等城郭の歴史について正しい理解を得られる状況といえず、城郭としての整備が有効である。
達成度	4	18年度予定の事業目標を達成することができた。発掘調査、測量調査を中心に基礎資料の積み上げを行うことができた。
効率性	4	調査に支障となる立木の伐採を、18年度は業務委託することなく実施できた。19年度は巨木もあり業務委託が必要であるが、立木を選り分け委託したい。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	拡大	石垣解体修理工事業務等の設計及び施行・監理業務等を都市計画課へ事務委任。他市町村等の城郭及び石垣整備のノウハウの活用。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容					平成18年度 決算内容					平成19年度 計画内容					平成20年度 計画内容					平成21年度 計画内容					平成22年度 計画内容				
		事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額		
委託	←→	賃金			(千円) 2,812	賃金			(千円) 1,909	賃金			(千円) 1,192	調査費			(千円) 1,000	工事請負費			(千円) 27,570	調査費			(千円) 2,000	調査費			(千円) 2,000		
		委託料			400	委託料			3,360	委託料			2,513	工事請負費			15,080	委託料			12,600	工事請負費			39,925	工事請負費			39,925		
		報償費			130	報償費			140	工事請負費			11,137	委託料			3,000	その他			500	委託料			13,635	委託料			13,635		
		需用費			198	需用費			233	報償費			200	その他			500					その他			500	その他			500		
		使用料及び賃借料			206	使用料及び賃借料			47	需用費			103																		
調査	←→	原材料費			29	原材料費			36	使用料及び賃借料			195				20														
		その他			225	その他			175	原材料費			340																		
進捗率(%)			40	45																											
事業費計(A)				4,000	事業費計(A)				5,900	事業費計(A)				15,700	事業費計(A)				19,580	事業費計(A)				40,670	事業費計(A)				56,060		
事業投入人員		人件費(B)		1.0 人	7,200	人件費(B)		1.0 人	7,200	人件費(B)		1.0 人	7,200	人件費(B)		1.0 人	7,200	人件費(B)		1.0 人	7,200	人件費(B)		1.0 人	7,200	人件費(B)		1.0 人	7,200		
フルコスト(A)+(B)				11,200			13,100			22,900			26,780			47,870			63,260												

事業費(人件費除)の財源内訳

(A) 事業費	4,000	5,900	15,700	19,580	40,670	56,060
Aの財源内訳	国庫支出金	2,000	2,950	7,850	9,790	28,030
	県支出金	400	590	157	4,067	5,606
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	1,600	2,360	7,693	7,832	22,424
	計	4,000	5,900	15,700	19,580	56,060
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率	国重要文化財等保存整備費補助金 国庫補助率50%	国重要文化財等保存整備費補助金 国庫補助率50%	国重要文化財等保存整備費補助金 国庫補助率50%	国重要文化財等保存整備費補助金 国庫補助率50%	国重要文化財等保存整備費補助金 国庫補助率50%
	地方債の区分と充当率等	県補助率 10%	県補助率 10%	県補助率 10%	県補助率 10%	県補助率 10%